



島本町認知症初期集中支援チーム サポートチームやまぶき について



認知症初期集中支援チームって、なに？

介護と医療の専門職（島本町では島本町高齢介護課の保健師や認知症地域支援推進員と医療法人清仁会が運営する島本町地域包括支援センターの専門職）がチームになり、医師の助言のもと、認知症の「早期診断・早期対応」を目指して活動する認知症専門チームです。島本町では平成30年度から活動を開始しています。

どんなことをするの？

認知症、または疑いのある方のご自宅を訪問するなどして、状況や困り事を確認し、今後のことをご本人やご家族と一緒に考えます。また、必要に応じて、医療機関の受診や介護サービス利用につながる情報提供や助言など、医療や介護につながるためのお手伝いを短期集中的におこないます。

対象者は？

島本町で在宅生活をしている40歳以上の方で、認知症の症状でお困りの方。
例えば・・・

- ・ 認知症の診断を受けたいが、受診を拒否している
- ・ 医療や介護のサービスを利用したいが結びつかない
- ・ 認知症の症状が強く、対応に困っている

など



一人で抱え込まず、まずは気軽にご相談を・・・

・・・町の認知症相談窓口・・・

島本町地域包括支援センター ☎ **075-963-2323**
(運営委託先：医療法人清仁会) (FAX 075-963-0150)

島本町高齢介護課 ☎ **075-962-2864**
(FAX 075-962-5652)



「サポートチームやまぶき」の由来
島本町の町花は「山吹」です。認知症のシンボルカラーとしてオレンジが使われていますが、そのオレンジより薄いやまぶき色の段階から関わりを持って支援するという意味がこめられています。